

この100年で宮崎の気温は**1.2℃も上昇!**
このままでは2100年頃に**4℃上昇も!**

今以上の対策をしなければ、
2100年頃の宮崎はこうなる!?

真夏日、猛暑日が増加

真夏日 | 最高気温が30℃以上の日 | **約66日増加**

猛暑日 | 最高気温が35℃以上の日 | **約28日増加**

【出典:宮崎県の気候変動(宮崎地方気象台)】

豪雨が頻繁に発生

短時間強雨回数 **約2.0倍に!**

◎一方、「雨が降らない日」も増加し、雨の降り方が極端に

【出典:宮崎県の気候変動(宮崎地方気象台)】

強い台風の割合が増加

海面水温の上昇により、日本付近に猛烈な台風が襲来する頻度が高くなる。

動植物にもさまざまな影響

平均気温の上昇は、農作物の生育不良や品質低下、生態系の変化などを引き起こす可能性も。

熱中症の
リスク増!

災害
リスク増!

地球温暖化対策のカギは
「2050年ゼロカーボン」!

健全な森林をみんなで作ろう!

暮らしに木を取り入れよう!

森に木を植え、育った木を伐り、様々な生活用品や家具・住宅など暮らしの中で木材を利用する。そしてまた木を植え育てる。森を循環させ、生まれ変わらせることが健全な森を維持することにつながります。



森林保全活動に参加しよう!

みやざきの森を守り育てるために、県内には様々な活動をしている森林ボランティア団体があります。県民総参加の森林づくりのため、ボランティアとして森林保全活動に参加してみませんか。



あなたのライフスタイルに合った
アクションを実行しましょう!



再生可能エネルギーを活用しよう!

再エネで発電された電気を使おう!

電力会社を選んだり、料金メニューから選択することで、再エネで作られた電気を使用することができます。



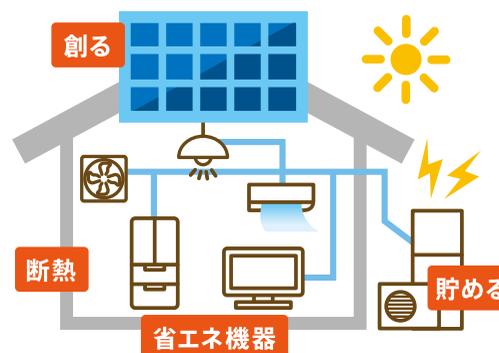
太陽光パネルを設置して、電気を自給しよう!

自宅で発電した電気を使うことで電気代の節約に! EVを蓄電池として活用すると、昼間に電気をため夜間に使うことも。災害などで停電した場合も安心!



ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

「省エネ」と「創エネ」によって、自宅の年間エネルギー使用量が実質ゼロとなる「ZEH」を目指してみませんか。

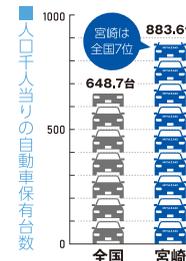


寒さ・暑さの影響を受けにくいので、一年を通して快適! 光熱費の節約にも!

省エネ・省資源でCO₂を減らそう!

移動をエコに!

- ・バス・電車を使おう!
- ・近所への移動は徒歩・自転車で!
- ・エコドライブで燃費向上!
- ・宅配便の再配達を減らそう!



食事をエコに!

- ・食品ロスをなくそう!
 - ・地産地消でCO₂削減!
- 廃棄時や生産、流通時のCO₂を削減



買換え時に実行を!

家電の買換えは省エネ型に

一年間の省エネ効果

電気冷蔵庫



10年前と比べて

約**-47%**
年間最大
約**6,910円**
お得

照明器具



蛍光灯をLEDへ

約**-50%**
年間最大
約**1,840円**
お得

マイカーをエコカーに

マイカーの買換え時に、EV(電気自動車)に乗り換えてみませんか?

一年間のCO₂削減効果

EV



ガソリン車と比べて

約**-40%**
年間最大
約**35,000円**
お得

子どもたちの未来のために
私からはじまる。ゼロカーボンアクション!



**HINATA
ZERO
CARBON**
はじまる。

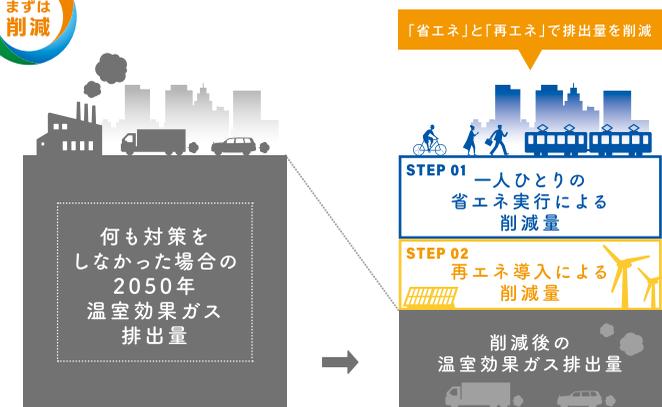
HINATA ZERO CARBON 2050 を目指して!

宮崎県の豊かな地域性を生かした3つの取り組み

- STEP 01** 省エネルギー・省資源の推進
- STEP 02** 再生可能エネルギーの導入
- STEP 03** 森林等吸収量の維持

温室効果ガス排出量と
森林などの吸収量を均衡させて、
2050年排出実質0へ!

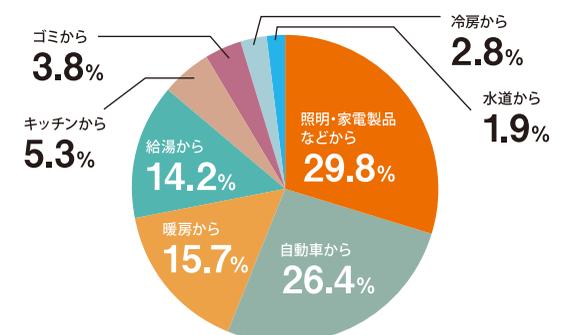
まずは削減



森林で吸収



家庭からの二酸化炭素排出量



※温室効果ガスインベントリオフィス(国立環境研究所)のデータを基に作成(2019年度)

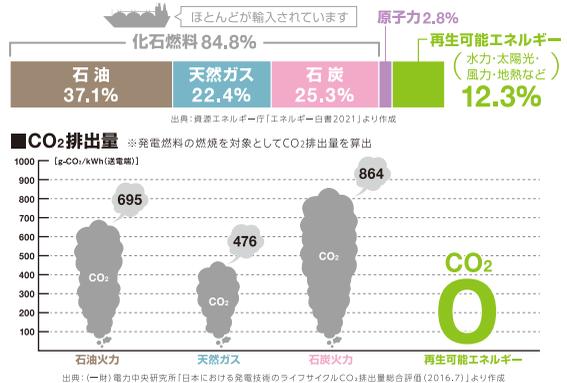
省エネルギー・省資源の推進

地球温暖化の原因は、温室効果ガスの増加とされています。その大部分は、私たちが石油などの化石燃料を大量に使うことで発生するCO₂です。省エネは「無理してがんばる」ことではありません。大切なのは、「エネルギーを効率よく使う」こと。必要な分のエネルギーを見直し、効率よく使うことでCO₂を減らし、出費も減らして、豊かで快適な暮らしへ改善することができます。

統一省エネラベル 省エネ性能 ★★★★★4.2 省エネ基準達成率 112% 年間消費電力量 249 kWh/年 6,720円	省エネルギーラベル 省エネ基準達成率 106% 年間消費電力量 100 kWh/年 省エネ基準達成率 65% 年間消費電力量 130 kWh/年
---	---

出典:統一省エネラベルが愛用したい! (経済産業省) https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new_saving/enterprise/retail/outlets_u_shonenlabel/ 月号もどき掲載

日本ではエネルギーの84.8%が化石燃料 化石燃料の多くは電気やガスなどに使用されています。



再生可能エネルギーの導入

宮崎県では、豊かな自然環境や農林水産業が盛んな地域性を生かした太陽光発電、水力発電、バイオマス発電などの導入が進んでいます。ゼロカーボンの実現に向けて、電気そのものを化石燃料から再生可能エネルギーへ転換していく必要があります。再生可能エネルギーは地球温暖化を防ぐだけでなく、エネルギーの地産地消により化石燃料を買うために使っていたお金を地域内の経済循環につなげることや、災害などの非常時の電源としても注目されています。



森林の循環利用



森林等吸収量の維持

宮崎県は県土の76%が森林に覆われています。森林にはCO₂を吸収する機能があり、木材になってもCO₂は炭素として固定されたままです。しかし、樹木はある年齢になると、吸収量は減少していくため、成熟期を終える頃に伐採して木材として活用することが重要です。「伐って、使って、すぐ植える」ことで健全な森林を維持することがCO₂吸収量の維持にもつながります。



HINATA ZERO CARBON 2050

宮崎県は2050年温室効果ガス排出実質ゼロ(ゼロカーボン)を表明しました。

「ゼロカーボン」とは、日常生活や事業活動で排出される二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスを可能な限り削減し、それでも残るCO₂を森林等により吸収して排出量を実質ゼロとすること。

地球温暖化に起因する異常気象や気象災害が世界各地で頻発し、気候変動は今や人類共通の課題となっています。この気候危機とも言える非常事態を突破し、かけがえのない美しい地球を守る。そのキーワードが「ゼロカーボン」です。

ゼロカーボンの実現には、みなさんのご協力が不可欠です。これ以上、地球温暖化が進まないよう、一人ひとりができることを実行してみませんか?



【お問合せ】
宮崎県環境森林部環境森林課
TEL.0985-26-7084 FAX.0985-26-7311

